

小川児童館が  
移転しました

この春、旧小川第1保育園跡地（小川小学校東側隣地）に移転した小川児童館では、5月5日に「子どもの日の集い」を開催しました。

岡典子館長からは、「引越して最初の行事です。遊び場も広くなったので、みんな元気に楽しく遊びましょう」とあいさつがありました。

集まった子ども達は、早速、庭のあちこちに隠されたお宝シールやボールを探す「宝探しゲーム」や鯉のぼりをトンネルのようにくぐって競争する「鯉のぼりくぐり」などをしたり、みんなでお菓子を食べたりして、ゴールデンウィーク最後の休日を楽しみ過ごしました。



馬頭東小で田植え体験

5月13日、馬頭東小学校になって初めての田植え体験が行われ、112名の児童の皆さんは、指導者の露久保一夫さん（大内）に植え方を教わりながら、一生懸命に苗を植えていきました。

最初、田んぼのぬかるみに足を取られてなかなか思うように出来ずに、中には服が泥だらけになってしまいう児童もいましたが、少しずつ慣れ、最後まで何とか無事に田植えを終えることが出来ました。

泥まみれになりながらも、自分たちで植えた田んぼを見て、皆さん、とても満足そうな笑顔を浮かべていました。

県立博物館が  
やって来た！

5月12日から13日の2日間、薬利小学校で学校移動博物館が開催され、栃木県立博物館から運ばれた貴重な化石や標本などが展示されました。

県立博物館の向田学芸員から「今回の移動博物館で歴史や自然に興味を持って頂き、ぜひ、皆さんの中から、恐竜博士や昆虫博士が出てきてくれれば」との挨拶に続き、6年生の阿久津葉菜さんが十二生肖を、松本翔平さんが鎧兜の着付けをしました。

二人とも衣装が予想以上に重かったらしく、「平安時代に生まれなくて良かった」と苦笑いしていました。



清流那珂川に  
あゆ放流



6月1日の解禁を前に、町では、那珂川中央漁業協同組合と同南部漁業協同組合の協力のもと、あゆの稚魚111kg（約7000匹）を5月14日に那珂川と武茂川の計5箇所に放流しました。

当日の水温は15℃と若干低めでしたが、川に放たれた体長10〜12cmの稚魚たちは元気に泳いでいました。

今シーズン、両漁協では計1000kgの稚あゆを放流し、あゆの漁獲高、日本一を誇る「清流那珂川」に大勢の釣り人を迎え入れる準備をしました。

小川小学校で  
クリーン作戦を実施

5月14日、小川小学校では、奉仕活動を通して学校や郷土をきれいにし、豊かな自然を守ろうとする気持ちを育てることなどを目的にクリーン作戦を実施し、全校児童が学年毎に学校周辺のゴミ拾いを行いました。

ゴミ袋を片手に歩きながら、道端に捨てられた空き缶やペットボトルなどを拾った児童の皆さんは、小学校に戻ってから早速、ごみの分別作業をしていました。

集められた皆さんのゴミの山を見て、児童の皆さんは、「ゴミのポイ捨てはやめよう」とみんながマナーを守ること



小川総合福祉センターあじさいホールで5月19日、戦没者・消防殉職者合同追悼式がしめやかに行われ、遺族や来賓約180人が参列しました。

式典で大金伊一町長は「尊い命を戦争に、あるいは消防業務に捧げられた英霊に対し、ご遺族の皆さまと共に偲び、その犠牲により培われた教訓を肝に銘じ、住民の生活の安定と安心、福祉の向上を目指し、諸英霊のご恩に報いることを誓います」と追悼の辞を述べました。

その後、議会議長や遺族会代表、消防団長などの来賓が追悼の碑に献花しました。

戦没者・消防殉職者  
合同追悼式



馬頭小学校で  
らくりん座が公演

5月20日、馬頭小学校体育館で演劇鑑賞会が開催され、馬頭地区3小学校の児童が観劇しました。

劇はらくりん座の「ランプルステイルツキンくわらをつむいで金の糸にする娘」で、衛兵役や糸巻き器役で児童の皆さんも特別出演、ほかの児童も全員で羊や番犬、村人などの声役で参加し、劇を盛り上げました。



らくりん座は、今年で設立58周年。児童の親や祖父母の中には、児童から今回の観劇の話聞いて、子どもの頃に自分も観劇した思い出を浮かべ、懐かしむ方も多かったことでしょう。

第7回まほろばの里  
歩け歩け大会開催

5月23日、小川総合福祉センターを発着点として、第7回まほろばの里歩け歩け大会が開催されました。

今回は今までのコースとは異なり、初めて馬頭地区を周回するコースを取り入れ、初心者コース・標準コース・熟練コースの3つのコースで参加者120名が集まりました。

それぞれのコースで那珂川の堤防沿いや名所旧跡を巡り、途中、町歴史解説員から史跡についての説明がありました。

参加した皆さんは、眺めの良い景色の中を歩いて、爽やかな汗を流していました。



高校生がカヌーで  
那珂川下り

今年で19回目となる馬頭高校水産科生徒によるカヌー実習が5月28日に実施され、3年生16人が同校水産科実習場（久那瀬）付近の武茂川から大瀬（茂木町）までの約30kmを下りました。

今回の実習には、アメリカから同校水産科に留学中のサムさんも参加、昨年の和舟実習に次ぐ2回目の那珂川での川下り体験に「故郷のミネソタ州にはたくさん湖があり、小さい頃からカヌーに乗っていたので、とても楽しみです。もうすぐ帰国するので、留学生生活の良い思い出になります」と笑顔で語ってくれました。



下芳井はたるの会  
はちみつ採取

農地水環境保全向上対策事業の一環として、下芳井はたるの会では、ミツバチの巣箱を設置し、5月31日に今年最初のはちみつ採取をしました。

3つの巣箱から取り出された蜜枠を遠心分離機にかけてと一升瓶約3本分のはちみつが採れ、集まった子供たちは、絞ったのはちみつのかきまじりに大喜びしていました。

下芳井はたるの会では、好評につき、今年は、3箇所計8箱に巣箱を増設しましたが、設置希望者が絶えず、順番待ちをしているそうで、また一つ、那珂川町に地域の特産品が出来ました。

